

令和6年度

公民科（公共）

北海道穂別高等学校

シラバス

科目名	公共	履修学年	1 学年（必修）
教科担任	折 原 拓 真	単位数	2 単位
教科書名	公共（実教出版）	副教材	テーマ別 公共 2024 (東京法令出版)
教科目標	社会的な見方考え方を働かせ、現代の諸課題を迫及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
科目目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家の形成者に必要な公民としての資質能力を育成することを目指す。		
学習方法	授業の前に教科書を一読し、学習内容を把握すると理解度が高まります。また、授業後使用したノート・プリント等に目を通し、繰り返し復習をすることで、年4回の定期試験と日常の授業に対応することができますのでそのような学習を心がけてください。評価は、考査、課題・プリント、小テスト、その他の諸課題の取り組み内容、ノート提出などで総合的に判断します。		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	現代社会の出来事に対して人間のあり方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけることができたか。 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論を理解し、諸資料を適切に読み取り、情報をまとめる技能が身につけることができたか。 (評価の割合 4 割)	a 試験 c 課題・プリント d 小テスト
②思考・判断・表現	諸資料や様々な概念を活用し、物事を公正かつ多面的・多角的に考察する力を養うことができたか。また、他者と協力して合意形成を構築する力、自らの考えを表現する力を養うことができたか。 (評価の割合 3 割)	b 授業態度 c 課題・プリント e その他
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のため、現代の諸課題を主体的に考察して理解しようとする態度を養うことができたか。また、人間としての在り方を自覚し、他者と協力し平和と繁栄に貢献しようとすることができたか。 (評価の割合 3 割)	b 授業態度 c 課題・プリント e その他

※評価方法【a 考査 b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他】

特に重視する方法

年間学習計画

単 元	倫 理 (予定時数 12)
主な学習内容（活動）	・ 青年期の特徴、自己形成の課題、職業生活と社会参加 ・ 現代社会の雇用の課題や望ましい働き方 ・ 日本の生活様式や伝統文化の特徴 ・ 人間としてよく生きるための人間観、科学と人間、社会を作る人間 ・ 他者とともに生きる人間と幸福 ・ 民主社会の倫理、人間の尊厳と平等、自由・権利と責任・義務
評価の観点と評価方法	①・青年期の意義と特徴について理解している。 ・日本人の伝統的な自然観・倫理観の特徴について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト
	②・自我について、資料集を利用して、多面的に考察している。 ・国際社会に生きるために、日本人が身に付けるべき態度について、「Try」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 ※評価の方法：授業態度、課題・プリント、その他
	③よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他

単 元	政 治 (予定時数 18)
主な学習内容 (活動)	・民主国家における基本原理 ・世界の主な政治制度 ・日本国憲法の成立の基本的性格 ・基本的人権の尊重と公共の福祉 ・平和主義とこんにちの防衛問題 ・日本の政治機構と政治参加
評価の観点と評価方法	①・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序の形成、維持することについて理解している。 ・安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めているかについて理解している。 ・政治参加と地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人の意見や利害の対立状況を調整して合意を形成して築かれるものであることについて理解している。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト ②自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察し、論拠をもって表現している。 ※評価の方法：：授業態度、課題・プリント、その他 ③よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割や安全保障と防衛、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や諸課題を主体的に解決しようとしている。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他

単 元	経 済 (予定時数 24)
主な学習内容 (活動)	・現代の経済社会とその変容 ・市場のしくみ、市場の失敗 ・国民所得と経済成長 ・金融の役割、財政の役割と租税、財政の課題 ・戦後の日本経済の成長と課題 ・農業と食糧問題 ・消費者問題 ・労働問題と労働者の権利
評価の観点と評価方法	①市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト ②自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ※評価の方法：：授業態度、課題・プリント、その他 ③よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他

単 元	国 際 (予定時数 16)
主な学習内容 (活動)	・ 国際社会と国際法 ・ 国際連合と国際協力 ・ 人種・民族問題 ・ 軍拡競争から軍縮へ ・ 貿易収支と国際収支、外国為替市場のしくみ ・ 第二次世界大戦後の国際経済 ・ 地域的経済統合の進展 ・ 発展途上国の諸課題と日本の役割
評価の観点と評価方法	①・国家主権、領土、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解している。 ・経済のグローバル化と国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト
	②自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ※評価の方法：：授業態度、課題・プリント、その他
	③よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他